山形美術館　令和６年度事業報告

概要

令和６年度の公益事業は、新型コロナウイルス感染症の影響から回復傾向にある中で実施した。春に「カンヴァスの同伴者たち　高橋龍太郎コレクション」、夏に「川瀬巴水　旅と郷愁の風景」、秋には「三瀬夏之介 ゆらぐ絵画」、冬は「山形の美術　山形美術館 60 年のあゆみとコレクション」、以上４本の企画展を開催した。さらに山形県民の美術振興を図る３県展を実施した。

収蔵品展事業においては、長谷川コレクション、服部コレクション、吉野石膏コレクションの作品を、テーマを設けて年間を通して展示し、収蔵品の魅力を紹介した。また創作活動を行う個人・団体に対する 17 の展示施設貸与事業を行った。

そのほかキャンパスメンバーズ制度に継続して取り組むとともに、収蔵品の貸出し協力、「博物館実習」における大学生の受入れ指導を行った。

これら公益事業関連の展覧会総入場者数は 81,959 人となった。昨年度の 89,565 人と比較すると、企画展事業と収蔵品展事業で 4,029 人の減少、展示施設貸与事業で 3,577 人の減少、合計で 7,606 人の減少となった。

収益事業は、1 階の喫茶室「ブーローニュ」の営業、およびミュージアムショップでの企画展や収蔵品展に合わせたグッズ・書籍の取扱いを実施した。

法人運営および施設管理では、適切な収蔵品管理に努め、空調機器の修繕等を行い、設備・内装・備品などの点検、長期改修計画を検討した。

1. 公益事業

①　企画展事業

山形県民はじめ広く美術愛好者に、国内外の優れた美術作品および関連資料を鑑賞する機会を提供する以下の事業を行った。

4月5日―5月26日　カンヴァスの同伴者たち　高橋龍太郎コレクション

山形県鶴岡市に生まれた精神科医の高橋龍太郎氏の集めた現代美術のコレクションよりその原点である草間彌生、合田佐和子、山口晃の作品をはじめ、ペインティングの新たな系譜、そして近年、高橋氏が注目している書と現代のグラフィティとのつながりや、陶の表現など、46 名の作家の多彩な作品 76 点を展示した。関連事業として高橋龍太郎氏と華雪氏による記念トーク (4 月 5 日)や、担当学芸員による「イチ推しトーク」(4 月 12、26、5 月 2、10、18、24、25 日)、鑑賞中の会話を妨げない「かたらい鑑賞 Day」(4 月 11、25、5 月 16 日)、出品作家らによるトークイベント(5 月 3、6 日)、身体表現ワークショップ「感じたことをカラダで表現してみよう！」(5 月 4 日)、東北芸術工科大学総合美術コースによるワークショップ「ふうせんスタンプでカラフルアート」(5 月 11 日)を行うなど、他機関との連携による催しを実施。日本を代表する現代美術の魅力を幅広い世代に発信した。(入場者　13,080 人)

7 月 11 日―8 月 25 日　川瀬巴水　旅と郷愁の風景

大正から昭和にかけて活躍した木版画家・川瀬巴水(1883–1957)の初期から晩年までの代表的な作品とともに、まとめて観る機会の少ない連作も含め、約 180 点を展示した。会期中は監修者の岩切信一郎氏に

よる記念講演会「川瀬巴水の版画世界」(7 月 14 日)や、担当学芸員によるギャラリートーク(7 月 18、8 月 1、15 日)、摺師の渡辺英次氏による「新版画の摺りの実演」(7 月 21 日)、作家の黒木あるじ氏をナビゲーターとする「親子で楽しむナイトミュージアム」(8 月 10 日)を開催。また鑑賞中の会話を妨げない「かたらい鑑賞 Day」を設定した(7 月 25 日、8 月 8、22 日)。多彩な催しにより、幅広い年代に新版画と川瀬巴水の魅力を紹介した。(入場者　19,498 人)

8 月 31 日―9 月 16 日　第 79 回山形県総合美術展

山形県の美術振興と美術家のレベル向上を目指して毎年開催している県内最大の公募展。日本画、洋画、彫刻、工芸の4部門に搬入された527点を、西田俊英(日本画)、大内田敬(洋画)、岩間弘(彫刻)、三上亮(工芸)の4氏が厳正に審査。会場には、入賞・入選、審査員、委嘱、無鑑査の作品、東北芸術工科大学教員の招待作品など、合わせて454点を展示した。優れた技術に加えて、メッセージ性が高く、思い入れの深い作品が並んだ。第66回こども県展には、県内の園児、小中生から11,840点の応募があった。聖心女子大学教授の水島尚喜氏が審査した結果、地域性が表れた作品が多く、山形的な精神風土が感じられると総評し、3階会場に入賞・入選1,045点を展示した。(入場者　7,185人)

9 月 21 日―10 月 6 日　第 49 回山形県総合書道展

山形県内および出身者の書家、書道愛好家から作品を公募し開催した。漢字・かな・調和体・近代詩文・少字数・篆刻の6部門に、高校生から90代までの幅広い年代の書家・書道愛好家から、一般公募186点、役員・会友260点を合わせ446点の作品が搬入された。県内の書家である青柳祥雲、植松龍祥、 髙橋嶔崖、小池逢花、我彦芳柳、岩城光伸、阿部旭祥、鴨田香月、横尾徳夫、秋田秀穂の10氏による審査の結果、県知事賞など入賞13点、奨励賞15点、褒状30点、入選138点が厳正に選抜された。会場には入賞・入選作に審査員、役員、会友の書作を加え409点を展示。かすれやにじみなどの技術を駆使し、文字のバランスや構成にこだわった作品が並んだ。植松龍祥氏(9月21日)、青柳祥雲氏(9月30日)による作品解説会を実施。多くの人が書の魅力や作品の良さに触れる機会とした。(入場者　2,353人)

11 月 1 日―11 月 17 日　三瀬夏之介 ゆらぐ絵画 ― 潜行、氾濫、上昇、斜行、迂回

三瀬夏之介(1973 年、奈良生まれ)は、 2009 年に東北芸術工科大学に着任以降、東北・山形の風土に向きあい、旧来の「日本画」の概念を超える絵画のあり方を問い続けている。本展では、三瀬夏之介の近作を中心に、作家が関わる地域プロジェクト、山形美術館の所蔵品を加え、204 作品と資料を展示。場所の歴史や記憶と不可分に描くことの根源を見据える三瀬夏之介の現在を紹介した。会期中には作家と担当学芸員によるトーク(11 月 1 日)、出品作家と担当学芸員によるギャラリーツアー(11 月 16 日)を開催。大原芸術財団シニアアドバイザーの柳沢秀行氏と作家(11 月 2 日)、作家と担当学芸員によるトークイベント(11 月 9 日)を行った。また、出品者で「紅花道中プロジェクト」を主催する東脇佳菜氏による紅花染ワークショップを、紅花染め指導者の大山るり子氏を招いて実施(11 月 3 日)。これらを通し、山形の歴史性や新しい風景を考える機会とした。(入場者　2,708 人)

12 月 13 日―2025 年 1 月 26 日　山形の美術　山形美術館 60 年のあゆみとコレクション

開館 60 周年を迎えた山形美術館をコレクションとともに振り返る展覧会として、日本画、洋画、西洋絵画、彫刻、工芸、版画、写真などさまざまな分野の作品 166 件を展示した。同時に県民から募集した当館についての思い出をパネルにし、館内に掲示。会期中には県美術連盟会員(設楽雅信、西塚裕樹、菅井正明、横倉晋也、小澤成光、以上 5 氏)によるギャラリートーク「現役作家が語る、山美の名品！」(12 月 13、20、1 月 10、17、24 日)を開催。また東北芸術工科大学総合美術コースによる「山美のキッズデー」(12 月 14

日)を開催。キッズギャラリーツアー「こどもアートたんけんたい」(同日に加え、12月21、1月11、18日にも実施)やワークショップ「キッズアーティストになろう　みんなで作ろう！カラフルマイギョ」)を行い、若年層とその家族に向けた取組みを行った。担当学芸員によるギャラリートーク(12月17、24、1月7、21日)も行なった。幅広い世代の県民に、様々な角度から山形美術館を理解していただき、親しんでいただく機会とした。 (入場者　3,875人)

2月20日―3月23日　第59回山形県写真展

県内の写真愛好家の質的向上と相互交流を目的に1967年に第1回展を開催してから、今年度で59回を迎えた。本展には、10歳から96歳までの438名から1,912点の一般公募作品が搬入。日本写真芸術専門学校校長で写真家のハービー・山口氏による2日間にわたる審査によって、入賞12点、準入賞10点、努力賞10点、入選383点が選ばれた。会場には公募作品に加え、審査員と無鑑査作品、計432点を展示した。独自の視点や優れた技術で捉えた力作や郷土愛や写真への情熱を感じさせる作品が並んだ。YouTubeの当館公式チャンネルで、ハービー・山口氏による審査講評などの動画を公開した。また会期中の3月9日には山形交響楽団メンバーによるフルート四重奏コンサートを開催した。(入場者　6,959人)

② 収蔵品展事業

山形美術館では、日本の美術、山形関係の美術、フランス近代美術の3分野について、美術作品および関連資料の収集と調査研究を進めている。本年は、1階第1および第2展示室において、長谷川コレクション、服部コレクション、吉野石膏コレクションを、テーマを設け通年にわたって紹介した。

フランス近代絵画の精華　　服部コレクション・吉野石膏コレクション

印象派を中心に、バルビゾン派からエコール・ド・パリまで、多様な作品が揃う「吉野石膏コレクション」と、現代フランス絵画の巨匠たちを中心とした20世紀フランス美術の「服部コレクション」を通して、19世紀から20世紀後半までのフランス絵画の多彩な展開を核とした展示を行った。印象派、ポスト印象派、フォーヴィスム、キュビスム、抽象、シュルレアリスム(超現実主義)など、新しさを追求した近代美術の展開と戦後フランス絵画の伝統と革新が織りなす豊穣な響き合いを紹介した。(入場者　8,899人)

4月5日－6月2日　印象派―光の輝き

ブーダン、ピサロ、セザンヌ、モネ、ルノワール、カサットなど30点

6月4日－8月25日　風景画と静物画の楽しみ

ピサロ、セザンヌ、シスレー、モネ、ルノワール、ヴァン・ゴッホ、ヴラマンクなど31点

8月31日－10月27日　色とかたちのバリエーション

モネ、ルノワール、マティス、ピカソ、ブラック、カンディンスキーなど24点

11月1日－12月27日　エコール・ド・パリの画家たち

ピサロ、モネ、マルケ、ヴラマンク、ヴァン・ドンゲン、ユトリロなど28点

1月4日－3月23日　吉野石膏コレクションの名作

ミレー、ピサロ、マネ、モネ、ルノワール、ヴァン・ゴッホ、ヴラマンク、シャガール、ミロなど31点

長谷川コレクション－山形に伝わる江戸から明治の美

紅花商人ゆかりの二つの長谷川家から寄贈を受けた全292点で構成される日本美術「長谷川コレクション」を紹介する展示を行った。江戸から明治にかけての多彩な作品を、下記7つのテーマに沿って通年にわたり紹介した。(入場者　8,899人)

4月5日－5月26日　花鳥画と季節の風物

狩野常信、周信、岑信《柳猿猴図》、渡辺崋山《渓澗野雉図》など16点

5月30日－7月7日　鄙と都の情景

菅原白龍《山水図》、川合玉堂《細雨》など13点

7月11日－8月25日　芭蕉の名句と夏の華

与謝蕪村《奥の細道図屏風》、松尾芭蕉《出羽三山短冊》、横山華山《紅花屏風》など18点

8月31日－10月27日　江戸から明治の書画

貫名海屋《赤壁賦書画屏風》、岡田半江《米法山水図》など11点

11月1日－12月8日　文人たちの描いた理想郷

田能村竹田《浅絳山水図》や高橋草坪《竹筍蜻蛉図(若竹蜻蛉図)》など17点

12月13日－1月26日　長谷川コレクション名作選＋山形の美術10選

前期・後期に分けて、県指定有形文化財や郷土作家の日本画など32点

1月29日－3月23日　神と仏と人のすがた

長沢芦雪《富士見西行図》、谷文晁《慈母観音図》など15点

収蔵品展事業による、本年度新収蔵品は寄贈 15 件である。閉館した山寺後藤美術館から受け入れたジャン＝マルク・ナティエ(伝)《落ち着いた青色の服》やシャルル・シャプラン《マダム・マイヨーの肖像》といった西洋絵画のほか、椿貞雄《富士山》、大内晴夫作品4点、小池隆英作品1点、山田修市作品2点など、県出身作家や東北芸術工科大学関連作家の作品、皆川義川、小林風五、三島通庸、原田柳泉などの本県の歴史や文化に功績のあった人物による作品を受贈した。今期末での寄託品を除く収蔵品件数は、基本財産収蔵品の一般正味財産(購入)505件、指定正味財産(寄贈)1,212件、合計1,717件となった。

③　展示施設貸与事業

美術に関する創作活動を行っている個人および団体に対し、当館の展示室と展示用備品を貸与する事業を行った。本年度は、山形県水彩画会展、日展山形会展、山形県民ふれあい書道展、示現会山形展、欅墨書院展、山形市芸文協総合展、Rei Masaka Exhibition 2024「月光」、毎日書道展東北山形展、読売書法展東北展、北展、山形県医家美術展、東邦書道会全国展、MOA 美術館山形県児童作品展、墨華会書道展、誠筆書展、山形デザイン専門学校卒業進級制作展、山形県健康福祉祭美術展、以上17の展覧会を開催した。

④　その他

収蔵品を活用した事業や指導など以下の事業を行った。

1. 山形美術館キャンパスメンバーズ制度の実施

学校教育等における当館の有効活用を目的に、平成29年度から設けた「山形美術館キャンパスメンバーズ制度」を本年度は10校が利用。常設・企画展の常時入館無料のほか、授業での解説指導等を実施した。

2. 収蔵品館外貸出による他機関への協力

栃木県立美術館で開催された「高橋由一から黒田清輝へ」に高橋由一《鮭図》など2点、笠岡市立竹喬美術館で開催された「20世紀フランス絵画　服部コレクション」にピカソ《剣を持つ男》など60点を貸し出したほか、「髙山辰雄展」(佐川美術館)、「最上川展～小松均・真下慶治が愛した母なる川～」(最上川美術館)、「生誕 110 年記念 今野忠一展」(天童市美術館)、「モネ　睡蓮のとき」(国立西洋美術館)、「桜井浜江中期作品展」(三鷹市スポーツと文化財団)、「芭蕉とその時代―江戸時代の文学・芸術、そし

て旅―」(山寺芭蕉記念館)、「椿貞雄と草土社の画家たち」(米沢市上杉博物館)、「没後 50 年　地主悌助×矢作隆一」(鶴岡アートフォーラム)、「みちのくの金と金華山」(石巻市博物館)、「おかえり、ヨコハマ」(横浜美術館)、「北斎漫画－驚異の眼・驚異の筆－」(パラミタミュージアム、備前市美術館)など、他機関の企画展に対し収蔵品の貸出協力を行った。

3. 吉野石膏コレクションの寄託解除

1991 年に当館への寄託が開始された吉野石膏コレクションについて、吉野石膏が都内で整備を進めている文化施設の収蔵庫で美術品管理ができるようになるため、作品の寄託契約が順次解除されることになった。

4. 博物館実習生および文化コーディネート実習生の受け入れと指導

博物館実習は、東北芸術工科大学の学生６名をのべ６日間受け入れ、美術館の機能と業務概要、資料の保存管理、地域における美術館のあり方などについて指導した。また山形大学大学院地域教育文化研究科の必修科目である文化コーディネート実習においては、1 名をのべ 80 時間受け入れ、冬の企画展に関連する山形美術館に関する思い出募集の広報物作成等を通じ、文化振興の実践的なコーディネート力の向上を図る指導を行なった。

5. 美術教育普及活動への協力

東北芸術工科大学芸術学部総合美術コースの松村泰三准教授と同コース３年の学生らが新海竹太郎・新海竹蔵を中心とした彫刻作品について鑑賞ガイドシートを作成し、多様な視点から作品を楽しむツールとして展示室に設置した。

6. 障がい者鑑賞の受け入れと連携

12 月に「山形県の文化施設においてのアクセシビリティ向上を考える」研修会(主催、やまがたアートサポートセンターら・ら・ら)を３階ホールで開催。アクセシビリティ向上のため、自治体や関連機関との連携を図った。

7. 「山形美術館で会いましょう」の連載

山形新聞の文化欄(毎週木曜日)に、コラム記事「山形美術館で会いましょう」を分担執筆し、美術館の企画展や収蔵品展の話題などを紹介した。

2. 収益事業

1 階の「ブーローニュ」において、コーヒーや限定メニューの提供により、鑑賞者の憩いの場となるよう努めた。また美術関係の書籍やグッズを販売するコーナーでは、展覧会図録や関連グッズなどの販売物を引き続いて取り扱った。

3. 法人運営および施設管理

老朽化した施設の修理保全を行いながら、収蔵品や企画展開催中の作品管理のため温湿度の管理に努めた。また、年度末の休館中に、1 階展示室ガラスケース内の LED 化、2 階展示室の LED 照明転換のためダクト増設工事を行い、今後の施設の維持活用のための長期改修計画を検討した。

4. 成果と課題

令和６年度は、日本を代表する現代美術のコレクション展や大正から昭和にかけて活躍した木版画家の作品展、山形にゆかりのある現代作家の展覧会に加え、収蔵品によって開館 60 周年を迎えた館のあゆみを振り返る展覧会など、さまざまな分野の企画展を実施した。さらに県内の美術愛好家を対象とする３県展に加え、長谷川コレクション、服部コレクション、吉野石膏コレクションをテーマごとにその魅力を紹介するなど、成果を収めることができた。

広報についても、ホームページ、フェイスブックやX(旧ツィッター)、Instagram に加え、企画展の動画配信によって、企画展概要やイベント情報を発信し、事業の周知に努めた。施設管理については、照明機器のダクト増設工事を実施したほか、設備、内装、備品などの点検を行うことで円滑な美術館運営に資している。施設全体として老朽化が進んできていることもあり、今後とも適切な対応に努める。

引き続き地域機関との連携を図り、優れた芸術に触れることのできる芸術創造拠点として、地域の活性化と文化振興に努める。

令和6年度　開催展覧会と入場者数

山形美術館

[企画展]

事　業　名	期　間	入　場　者　数					主催、共催、後援など	備　考
		一　般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
カンヴァスの同伴者たち 高橋龍太郎コレクション	4月5日～ 5月26日	8,075	321	543	4,141	13,080	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市、東北芸術工科大学、高橋龍太郎コレクション、医療社団法人こころの会、児島やよい	4月5日高橋龍太郎氏と華雪氏による記念トーク。4月12、26、5月2、10、18、24、25日担当学芸員によるギャラリートーク。4月11、25、5月16日「かたらい鑑賞Day」。5月3日久松知子氏によるスペシャルトーク「山形以後を語る」。5月4日加藤由美氏による身体表現ワークショップ「感じたことをカラダで表現してみよう！」、5月6日金子富之氏ギャラリートークとサイン会。5月11日東北芸術工科大学総合美術コースによるワークショップ「ふうせんスタンプでカラフルアート」。
川瀬巴水 旅と郷愁の風景	7月11日～ 8月25日	14,339	418	497	4,244	19,498	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、県教委、山形県芸術文化協会、山形市、山形市教委、山形市芸術文化協会、渡邊木版美術画舗、大田区立郷土博物館、ステップイースト	7月14日岩切信一郎氏記念講演会「川瀬巴水の版画世界」。7月18、8月1、15日担当学芸員によるギャラリートーク(8月1日は11:00-、14:00-の2回実施)。7月21日渡辺英次氏による「新版画の摺りの実演」。7月25、8月8、22日「かたらい鑑賞Day」。8月10日黒木あるじ氏をナビゲーターとする「親子で楽しむナイトミュージアム」。
第79回山形県総合美術展	8月31日～ 9月16日	4,115	161	558	2,351	7,185	山美、山新、山放、県美術連盟、山形県、県生涯学習文化財団、市教委、県芸術文化協会、県造形教育連盟、ぺんてる	西田俊英(日本画)、大内田敬(洋画)、岩間弘(彫刻)、三上亮(工芸)の4氏による審査。第66回こども県展を併催。8月31日表彰式。
第49回山形県総合書道展	9月21日～ 10月6日	964	66	19	1,122	2,171	山美、山新、山放、県総合書道会、山形県、県生涯学習文化財団、県書道連盟、県教委、山形市、市教委、県芸術文化協会	青柳祥雲、植松龍祥、 高橋嶽崖、小池逢花、 我彦芳柳、 岩城光伸、阿部旭祥、 鴨田香月、横尾徳夫、秋田秀穂の10氏による審査、9月21日植松龍祥氏、28日青柳祥雲氏ギャラリートーク。10月6日授賞式。
三瀬夏之介　ゆらぐ絵画 －潜行、氾濫、上昇、斜行、迂回	11月1日～ 17日	1,252	48	46	1,362	2,708	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市、イムラアートギャラリー、東北芸術工科大学	11月1日三瀬夏之介氏と担当学芸員、16日出品作家と担当学芸員によるギャラリーツアー。11月2日柳沢秀行氏と三瀬夏之介氏、9日三瀬夏之介氏と担当学芸員によるトークイベント。11月3日大山るり子氏、東脇佳菜氏による紅花染めワークショップ。
山形の美術 山形美術館60年のあゆみとコレクション	12月13日～ 1月26日	1740	118	79	1938	3,875	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市	12月13、20、1月10、17、24日「現役作家が語る、山美の名品！」。12月14日東北芸術工科大学総合美術コースによる「山美のキッズデー」(10:30- キッズギャラリーツアー「こどもアートたんけんたい」、13:30- ワークショップ「キッズアーティストになろう　みんなで作ろう！カラフルマイギョ」)。キッズギャラリーツアーは12月21、1月11、18日にも実施。12月17、24日、1月7、21日担当学芸員によるギャラリートーク。
第59回山形県写真展	2月20日～ 3月23日	3,280	195	168	3,316	6,959	山美、山新、山放、県写真連盟、山形県、県生涯学習文化財団、県教委、山形市、市教委、県写真材料商組合	2月7、8日ハービー・山口氏による審査(非公開)。3月9日山形交響楽団メンバーによるフルート四重奏コンサート。3月23日授賞式。
企画展　計(A)		33,765	1,327	1,910	18,474	55,476		

令和6年度　開催展覧会と入場者数

山形美術館

[収蔵品によるテーマ展]

フランス近代絵画の精華 服部コレクション・ 吉野石膏コレクション 長谷川コレクション－山形に伝わる江戸から明治の美	4月5日～ 3月23日	4,106	235	201	4,357	8,899	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市	
収蔵品によるテーマ展 計(B)		4,106	235	201	4,357	8,899		
館主催展計　(C=A＋B)		37,871	1,562	2,111	22,831	**64,375**		

[展示施設貸与事業など]

事　業　名	期　間	入　場　者　数					主催、共催、後援など	備　考
		一　般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
山形県水彩画会展	5月31日～ 6月5日	597	-	-	-	597	山形県水彩画会	
日展山形会展	6月7日～ 16日	989	-	5	656	1,650	日展山形会、山形新聞・山形放送	
山形県民ふれあい書道展	6月20日～ 23日	806	26	41	666	1,539	山形県民書道会	
示現会山形展	6月26日～ 30日	354	15	59	349	777	示現会、示現会山形支部	
欅墨書院展	7月3日～ 7日	1,326	-	-	-	1,326	欅墨書院	
山形市芸文協総合展覧会	10月9日～ 14日	4,262	-	-	-	4,262	山形市、市教委、市芸術文化協会	
Rei Masaka Exhibition 2024「月光」	10月12日～ 14日	130	-	-	-	130	眞坂麗	
毎日書道展東北山形展	10月16日～ 20日	286	20	18	1,565	1,889	毎日新聞社、毎日書道会	
読売書法展東北展	10月23日～ 27日	329	10	7	1,102	1,448	読売新聞社、読売書法会	
山形県医家美術展	11月20日～ 24日	585	-	-	-	585	山形県医師会	
北展会員会友展・公募展	11月20日～ 24日	702	-	-	-	702	東北現代美術協会	
東邦書道会全国展	11月28日～ 12月1日	528	-	-	-	528	墨華会	
MOA美術館山形県 児童作品展	11月30日～ 12月1日	220	-	-	-	220	MOA美術館山形県児童作品展実行委員会	
墨華会書道展	12月6日～ 8日	489	-	-	-	489	東邦書道会	
誠筆書展	1月30日～ 2月2日	640	-	-	-	640	誠筆会	
山形デザイン専門学校 卒業進級制作展	2月7日～ 9日	399	-	-	-	399	山形デザイン専門学校	
健康福祉祭美術展	2月14日～ 16日	403	-	-	-	403	山形県社会福祉協議会 山形県老人クラブ連合会	
展示施設貸与事業計(D)		13,045	71	130	4,338	**17,584**		

全展覧会　総計(E=C＋D)		50,916	1,633	2,241	27,169	**81,959**		

令和６年度新収蔵品リスト

令和７年３月31日現在

◯寄贈

作　　者　　名	作　　品　　名	制作年	材　　質　・　技　　法	寸法(cm)
皆川義川	山岳図		紙本墨画	62.5×44.2
ジャン＝マルク・ナティエ(伝)	落ち着いた青色の服	1746	キャンヴァス・油彩	138.0×105.0
シャルル・シャプラン	マダム・マイヨーの肖像	1869	キャンヴァス・油彩	230.0×140.0
椿貞雄	富士山	1954	板・油彩	90.9×60.6
澁谷円吉	闘い	1967	キャンヴァス・油彩	181.6×121.0
大内晴夫	赤(fragment)	1995	キャンヴァス・アクリル	97.0×194.0
大内晴夫	青(blues things)	1995	キャンヴァス・アクリル	97.0×194.0
大内晴夫	黄とピンク(party)	1995	キャンヴァス・アクリル	97.0×194.0
大内晴夫	エレメント	1999	キャンヴァス・アクリル	97.0×194.0
山田修市	Life 2007 春	2007	キャンヴァス・油彩	227.3×363.6、227.3×162.3
山田修市	Life 2007 秋	2007	キャンヴァス・油彩	227.3×545.2
小池隆英	Eye Wall	2009	綿布・アクリル	173.0×196.0
三島通庸	詠書(あしひきの)		紙本墨書	49.5×32.0
小林風五	句文切(立秋　ほか)		紙本墨書	15.3×31.9
原田柳泉(清四郎)	李太白詩		紙本墨書	227.5×52.3

※以上の美術品15件を基本財産収蔵品(不可欠特定財産)とする。

令和６年度収蔵品貸出一覧

作　者　名	作　品　名	借受館又は借受者	貸　出　事　由	貸出期間
高橋由一 黒田清輝	鮭図 女の顔(習作)	栃木県立美術館	高橋由一から黒田清輝へ－明治洋画壇の世代交代劇－	4/10－6/19
髙山辰雄	聖家族Ⅰ、Ⅲ、Ⅷ、XI、XVIII、XX、XXV	佐川美術館	髙山辰雄展	7/4－10/9
ピカソ	剣を持つ男 など服部コレクション60点	笠岡市立竹喬美術館	20世紀フランス絵画 服部コレクション 芸術の都(パリ)に集った巨匠たち	7/8－9/12
小松均 真下慶治	最上川源流　3面 最上川 霙	最上川美術館	最上川展 ～小松均・真下慶治が愛した母なる川～	9/4－10/16
今野忠一	火山湖	天童市美術館	生誕110年記念 今野忠一展　わが心の名山	9/11－11/7
モネ	テムズ川のチャリング・クロス橋 睡蓮	国立西洋美術館	モネ　睡蓮のとき	9/19 (貸出後寄託解除)
桜井浜江	樹(一) など6点	三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリー	桜井浜江中期作品展	10/3－11/14
谷文晁	海鶴蟠桃図 など3点	山寺芭蕉記念館	芭蕉とその時代－江戸時代の文学・芸術、そして旅－	10/18－12/20
椿貞雄	落日(代々木附近)	米沢市上杉博物館	椿貞雄と草土社の画家たち	11/9－2025/1/23
地主悌助	月山 地蔵	鶴岡アートフォーラム	庄内の美術家たち20 没後50年　地主悌助×矢作隆一 石を描く、石を彫る	10/6－2024/1/30
東東洋	金華山松島図 青楓若松若鹿図	石巻市博物館	みちのくの金と金華山	2025/1/21－3/27

ピカソ	女の肖像(マリ＝テレーズ・ワルテル)	横浜美術館	おかえり、ヨコハマ	2025/1/23 (貸出後寄託解除)
葛飾北斎	北斎漫画 201点	パラミタミュージアム 備前市美術館	浦上コレクション 北斎漫画－驚異の眼・驚異の筆－	2025/3/21－ (貸出中)